

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【公表番号】特表2016-515808(P2016-515808A)
 【公表日】平成28年6月2日(2016.6.2)
 【年通号数】公開・登録公報2016-034
 【出願番号】特願2016-502270(P2016-502270)
 【国際特許分類】

A 2 3 K 50/40 (2016.01)

A 2 3 K 10/00 (2016.01)

A 0 1 K 29/00 (2006.01)

【F I】

A 2 3 K 1/18 A

A 2 3 K 1/00 Z

A 0 1 K 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月13日(2017.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ペット用おやつであって、
卵白を含むある量のタンパク質；および
炭水化物

を含み、該ペット用おやつの重量1グラムあたり5カロリー未満を有する、ペット用おやつ。

【請求項2】

該ペット用おやつの重量1グラムあたり3.5カロリー未満のカロリー密度を有する、
請求項1記載のペット用おやつ。

【請求項3】

該ペット用おやつの7.6重量%未満の含水率を有する、請求項2記載のペット用おやつ。

【請求項4】

該ペット用おやつの2.5重量%未満の脂肪含有率を有する、請求項2記載のペット用おやつ。

【請求項5】

該ペット用おやつの少なくとも5.1重量%のタンパク質含有率を有する、請求項2記載のペット用おやつ。

【請求項6】

該ペット用おやつ内に、1mm²あたり少なくとも11から23個の気泡を有する、請求項2記載のペット用おやつ。

【請求項7】

少なくとも5.1重量%のタンパク質を含み、該タンパク質が、ある量の卵およびある量の卵白のうちの少なくとも1つを含み、該ペット用おやつの重量1グラムあたり3カロリー未満を有する、ペット用空気混入おやつ。

【請求項 8】

0.345 g / cc から 0.284 g / cc の嵩密度を有する、請求項 7 記載のペット用空気混入おやつ。

【請求項 9】

該ペット用おやつの 7.6 重量%未満の含水率を有する、請求項 8 記載のペット用空気混入おやつ。

【請求項 10】

該ペット用おやつの 2.5 重量%未満の脂肪含有率を有する、請求項 8 記載のペット用空気混入おやつ。

【請求項 11】

該ペット用おやつ内に 1 mm² あたり少なくとも 11 から 23 個の気泡を有する、請求項 8 記載のペット用空気混入おやつ。

【請求項 12】

ある量のタンパク質を含むペット用おやつであって、前記タンパク質が、ある量の卵およびある量の卵白のうちの少なくとも 1 つを含み、該ペット用おやつの重量 1 グラムあたり 5 カロリー未満のカロリー密度を有し、および 0.345 g / cc から 0.284 g / cc の嵩密度を有する、ペット用おやつ。

【請求項 13】

グリセリンをさらに含む、請求項 12 記載のペット用おやつ。

【請求項 14】

ゼラチンをさらに含む、請求項 12 記載のペット用おやつ。

【請求項 15】

水をさらに含む、請求項 12 記載のペット用おやつ。

【請求項 16】

動物血漿をさらに含む、請求項 12 記載のペット用おやつ。

【請求項 17】

前記タンパク質が、ある量の卵白およびある量の動物血漿を含む、請求項 12 記載のペット用おやつ。

【請求項 18】

前記タンパク質が動物血漿を含む、請求項 1 記載のペット用おやつ。

【請求項 19】

前記タンパク質が動物血漿をさらに含む、請求項 7 記載のペット用おやつ。

【請求項 20】

前記タンパク質が、ゼラチン、乳清タンパク質、キャノーラタンパク質、キャノーラタンパク質単離物、エンドウタンパク質、エンドウタンパク質単離物、およびダイズタンパク質のうちの少なくとも 1 つをさらに含む、請求項 7 記載のペット用おやつ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

結果および結論

上記方法の結果、軽量でペットにとって魅力的なメレンゲタイプのおやつが得られた。ペット用おやつは、少なくとも 51% のタンパク質含有率、約 2.5% の脂肪含有率、約 0.5% の繊維含有率、および約 7.6% の含水率を有していた。おやつの密度は 0.284 g / cc から 0.345 g / cc の間であった。

他の実施態様

1. それぞれの量のタンパク質源および炭水化物を含むペット用おやつであって、重量 1 グラムあたり約 5 カロリー未満を有する、ペット用おやつ。

2. タンパク質源および炭水化物を含むペット用低カロリーおやつであって、重量1グラムあたり約3.5カロリー未満のカロリー密度を有する、ペット用低カロリーおやつ。
3. 約7.6重量%未満の含水率を有する、実施態様2に記載のペット用低カロリーおやつ。
4. 約2.5重量%未満の脂肪含有率を有する、実施態様2に記載のペット用低カロリーおやつ。
5. 少なくとも約5.1%のタンパク質含有率を有する、実施態様2に記載のペット用低カロリーおやつ。
6. 前記タンパク質源が卵を含む、実施態様2に記載のペット用低カロリーおやつ。
7. 前記おやつが、前記およつの構造内で1mm²あたり少なくとも11から23個の気泡を有する、実施態様2に記載のペット用低カロリーおやつ。
8. それぞれの量のタンパク質源および糖を含むペット用空気混入おやつであって、重量1グラムあたり約3カロリー未満を有する、ペット用空気混入おやつ。
9. タンパク質源および糖を含むペット用空気混入おやつであって、約0.345g/ccから0.284g/ccの嵩密度を有する、ペット用空気混入おやつ。
10. 約7.6重量%未満の含水率を有する、実施態様9に記載のペット用空気混入おやつ。
11. 約2.5重量%未満の脂肪含有率を有する、実施態様9に記載のペット用空気混入おやつ。
12. 少なくとも約5.1%のタンパク質含有率を有する、実施態様9に記載のペット用空気混入おやつ。
13. 前記タンパク質源が卵を含む、実施態様9に記載のペット用空気混入おやつ。
14. 前記およつの構造内で1mm²あたり少なくとも11から23個の気泡を有する、実施態様9に記載のペット用空気混入おやつ。
15. タンパク質源および糖を含むペット用低脂肪おやつであって、約2.5%未満の脂肪含有率を有する、ペット用低脂肪おやつ。
16. タンパク質源および糖を含むペット用低脂肪おやつであって、重量1グラムあたり約3.0カロリー未満のカロリー密度を有し、約0.345g/ccから0.284g/ccの嵩密度を有する、ペット用低脂肪おやつ。
17. 約7.6重量%未満の含水率を有する、実施態様16に記載のペット用低脂肪おやつ。
18. 少なくとも約5.1%のタンパク質含有率を有する、実施態様16に記載のペット用低脂肪おやつ。
19. 前記タンパク質源が卵を含む、実施態様16に記載のペット用低脂肪おやつ。
20. 前記およつの構造内で1グラムあたり少なくとも11から23個の気泡を有する、実施態様16に記載のペット用低脂肪おやつ。
21. 動物において体重を管理する方法であって、少なくとも約5.1重量%のタンパク質を含み、重量1グラムあたり約3.0カロリー未満のカロリー密度を有するペット用おやつを前記動物に投与することを含む、方法。
22. 動物において体重を管理する方法であって、少なくとも約5.1重量%のタンパク質を含み、重量1グラムあたり約3.0カロリー未満のカロリー密度を有するペット用おやつを前記動物に投与することを含む、前記ペット用おやつが、前記動物によって消費される食物の体積の20%を占める、方法。
23. 動物において体重を管理する方法であって、少なくとも約5.1重量%のタンパク質を含み、重量1グラムあたり約4.5カロリー未満のカロリー密度を有し、約2.5%未満の脂肪含有率を有するペット用おやつを前記動物に投与することを含む、前記ペット用おやつが、前記動物によって消費される食物の体積の20%を占める、方法。
24. 動物において体重を管理する方法であって：
 - a. 気泡が形成されるように、タンパク質源および炭水化物を含む組成物をホイップするステップと、

b . 前記組成物を表面上に小分量で落下させるステップと、

c . 前記組成物が安定化するように前記小分量を加熱し、焼成されたペット用おやつが得られるステップであって、前記得られたペット用おやつが少なくとも約 5.1 重量%のタンパク質含有率、約 0.345 g / cc から 0.284 g / cc の嵩密度、約 7.6 重量%未満の含水率を有し、重量 1 グラムあたり約 4.0 カロリー未満のカロリー密度を有するものであるステップと、

d . 前記ペット用おやつを、それを必要とする動物に投与するステップと、を含む、方法。

25 . ポウルおよびホイップ用ブレードを使用して前記ホイッピングステップを行う、実施態様 24 に記載の方法。

26 . 前記ホイッピングステップが約 1 分から 3 分を要する、実施態様 25 に記載の方法。

27 . 連続ミキサーを使用して前記ホイッピングステップを行う、実施態様 24 に記載の方法。

28 . 前記連続ミキサーを約 1 分から 3 分間使用する、実施態様 27 に記載の方法。

29 . 前記ホイッピングステップがエアレータを使用して行われる、実施態様 24 に記載の方法。

30 . 前記エアレータが約 2191 ccm から約 3760 ccm の空気流を有する、実施態様 29 に記載の方法。

31 . 前記落下ステップが前記小分量を手作業で成形することを含む、実施態様 24 に記載の方法。

32 . 前記加熱ステップが、従来のオープン、真空オープン、過熱水スチームオープン、および電子レンジからなる群から選択される加熱源の使用を含む、実施態様 24 に記載の方法。

33 . 動物における体重減少のための方法であって、少なくとも約 5.1 重量%のタンパク質を含み、重量 1 グラムあたり約 5.0 カロリー未満のカロリー密度を有するペット用おやつを投与することを含む、方法。

34 . 前記ペット用おやつが前記動物の 1 日のおやつ摂取量の少なくとも 50% を構成する、実施態様 33 に記載の方法。

35 . 動物における体重減少のための方法であって、少なくとも約 5.1 重量%のタンパク質を含み、重量 1 グラムあたり約 3.1 カロリー未満のカロリー密度を有するペット用おやつを前記動物に投与することを含み、前記ペット用おやつが、前記動物によって消費される食物の体積の 20% を占める、方法。

36 . 動物における体重減少のための方法であって、少なくとも約 5.1 重量%のタンパク質を含み、重量 1 グラムあたり約 4.0 カロリー未満のカロリー密度を有し、約 2.5% 未満の脂肪含有率を有するペット用おやつを前記動物に投与することを含み、前記ペット用おやつが前記動物によって消費される食物の体積の 20% を占める、方法。

37 . 動物における体重減少のための方法であって：

a . 気泡が形成されるように、タンパク質源および糖を含む組成物をホイップするステップと、

b . 前記組成物を表面上に小分量で落下させるステップと、

c . 前記組成物が安定化するように前記小分量を加熱して、焼成されたペット用おやつを得るステップであって；前記得られたペット用おやつが、少なくとも約 5.1% のタンパク質含有率、約 0.345 g / cc から 0.284 g / cc の嵩密度、約 0.01 g / cc 未満の密度、約 7.6 重量%未満の含水率を有し、重量 1 グラムあたり約 5.0 カロリー未満のカロリー密度を有するものであるステップと、

d . 前記ペット用おやつを、それを必要とする動物に投与するステップと、を含む、方法。

38 . ペット用おやつであって、噛みごたえのある外側部分およびカリカリした内側部分を含み、前記おやつ内に気泡が形成されるようにホイップされたタンパク質源および糖が

ら構成されている、ペット用おやつ。

39. ペット用おやつであって、噛みごたえのある外側部分およびカリカリした内側部分を含み、タンパク質源および糖から構成され、嵩密度が約 0.345 g/cc から 0.284 g/cc であり、含水率が10重量%未満であり、カロリー密度が重量1グラムあたり2.5カロリーから5.0カロリーである、ペット用おやつ。

40. 動物の歯磨き方法であって、外層および内層を備える本体を有するおやつを投与するステップを含み、前記外層が、前記おやつ本体から離れる前のひと咬みの閉鎖咀嚼運動の少なくとも40%にわたって歯の表面と接触したままであり、前記本体が重量1グラムあたり約3.2カロリー未満のカロリー密度を有する、方法。

41. それぞれの量のタンパク質源および炭水化物を含むペット用おやつであって、おやつ1個あたり約1カロリー未満を有する、ペット用おやつ。

42. タンパク質源および炭水化物を含むペット用おやつであって、おやつ1個あたり約1.0カロリー未満を有し、約 0.345 g/cc から 0.284 g/cc の嵩密度を有する、ペット用おやつ。

43. タンパク質源および炭水化物を含むペット用おやつであって、おやつ1個あたり約1.0カロリー未満および 1 mm^2 あたり約1.1から2.3個の気泡を有する、ペット用おやつ。

44. タンパク質源および炭水化物を含むペット用おやつであって、前記ペット用おやつが、おやつ1個あたり約1.0カロリー未満、 1 mm^2 あたり約1.1から2.3個の気泡および約 0.345 g/cc から 0.284 g/cc の嵩密度を有する、ペット用おやつ。